

ミシシッピーアカミミガメ の野生化について

中 村 一 恵

Note on the naturalization of Red-eared
Turtle in Kanagawa Prefecture.

Kazue NAKAMURA

1980年6月26日に横浜市内の池でアメリカスマガメ類の一種であるミシシッピーアカミミガメを目撃したことがきっかけとなって、7~8月にかけて県内数ヶ所の池沼や河川を予備的に見てまわったところ、予想以上に本種の野生化が進んでいることを知った。

近年、石川（徳本，1979），東京（原，1979），滋賀（深田，1979），京都・奈良（深田，1976）などの各都県でアメリカスマガメ類の野生化が報告されているが、本県における野生化に関する記録はこれまでなかったと思うので簡単に報告しておきたい。

日本に大量に輸入されてミドリガメという名でペットとして売られているのがアメリカスマガメ類の子供

である。数の上で大部分を占めているのはミシシッピーアカミミガメ *Chrysemys scripta elegans* で、コロンビアクジャクガメ *C. s. callirostris* がそれに次ぎ、他は少数しかはいっていない（原，1974）。これらのうち北アメリカ南東部原産のミシシッピーアカミミガメが逃げだしたり捨てられたりして各地で野生化している。

8ヶ所の池沼や河川でアメリカスマガメ類が生息していた（表1，2）が、鎌倉の平家池でコロンビアクジャクガメと思われる1頭を目撃した以外はすべてミシシッピーアカミミガメであった。2ヶ所でクサガメ *Chinemys reevesii* と混棲し、1ヶ所でクサガメ，ニホンイシガメ *Mauremys japonica*，ニホンスッポン *Trionyx sinensis* の3種と混棲していた。

東京不忍池では、はっきり定着したと考えられたのは1970年代にはいつてからで、1979年の春にはかなりの幼体が見られ、繁殖しはじめたのではないかという（原，1979）。本県における繁殖の有無は不明と思うが、孵化したばかりの子ガメ（甲長2.0~3.5cm位）が性的に成熟するのは、雄で腹甲の長さが10cm位になったとき、雌では15~20cm位である（原，1974）から、野生化したもののなかには、表からわかるように性的

表1 ミシシッピーアカミミガメの目撃記録（1980年）

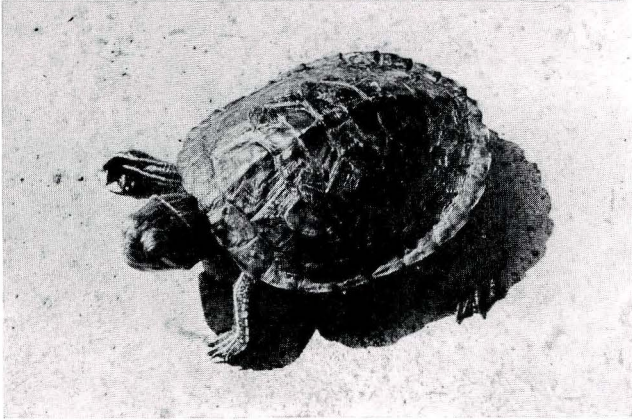
日 付	場 所	頭数	推定甲長 (cm) ()内個体数	備 考
6.22	港北区小机町鶴見川	1	?	石江馨氏目撃
6.26, 30	戸塚区瀬上池	1	12	他にアメリカザリガニ，ウシガエル
7.3	中区本牧三溪園	8	{ 7~8(2) 14~15(4) 17~18(2)	他にクサガメ(9)，アメリカザリガニ ウシガエル
7.21, 23	鎌倉市雪ノ下源平池	4*	{ 14~15(1) 17~18(3)	他にクサガメ(10)，ニホンイシガメ(2) ニホンスッポン(6)，アメリカザリガニ，ウシガ エル
8.11	戸塚区上郷町稲荷川	1	7~8	
8.11	磯子区久良岐公園	1	5	

* 他に甲長15cm位のコロンビアクジャクガメと思われるもの1頭目撃

表2 ミシシッピーアカミミガメの採集記録

日 付	場 所	頭 数	甲 長 (cm)	備 考
1978	緑区奈良町本山池	1	?	野川喜一氏採
1979	緑区奈良町本山池*	1	12.5	野川喜一氏採，筆者測定
1980. 9.15	厚木市関口善明用水	1	7.5	倉田章伸君採，青木信一氏測定

* クサガメ2頭目撃，他にアメリカザリガニ，ウシガエル（1980.8.21）



写真説明

上：ミシシッピーアカミミガメ

三溪園（筆者撮影）

下：厚木市関口で採集された個体

青木信一氏撮影（神奈川新聞社提供）

成熟に達した個体が少なからず含まれていることになる。

同じヌマガメ科に属するクサガメやニホンイシガメなどの在来種（といってもクサガメはもともと西日本の産であるが）との競合関係も明らかではない。垣間見た本種の行動から思うに、クサガメよりも動きはすばやいという印象を受けたし、体型はニホンイシガメ（甲長18cm）やクサガメ（甲長25cm）より大きくなり、日本産のどの種類よりも寒さに強い（原，1979）。また、クサガメよりも水の汚れに強い（共に外来種であるアメリカザリガニやウシガエルとの組み合わせで見ることが多かった）ともいわれるので、ミシシッピーアカミミガメは今後の動向がとくに注目される外来種であるといえよう。

最後に、アメリカヌマガメ類について種々ご教示下さった日本野生生物研究センター研究員千石正一氏並びに情報をお寄せ下さった神奈川新聞社青木信一、横

浜市立桜台小学校校長大内實，日本野鳥の会神奈川支部幹事石江馨，神奈川県立博物館技師新井一政の各氏に感謝の意を表する。

文 献

深田 祝 1976 爬虫両生類の移出入について

京都教大理科教育年報 6：27—30

深田 祝 1979 滋賀県の爬虫類，滋賀県の自然，567—589，滋賀県自然保護財団

原 幸治 1974 アメリカヌマガメのなかま（I）どうぶつと動物園，298：372—375

原 幸治 1979 不忍池のカメ，どうぶつと動物園 356：298—301

徳本 洋 1979 淡水にすむカメたち，北陸の自然（野編），91，巧玄社

（神奈川県立博物館）